

ワイヤレスブロードバンド実現のための周波数確保等に関する意見

意見提出元	読売テレビ放送株式会社
意見項目	意見内容
(1) ワイヤレスブロードバンドの今後の展望	世界最先端のワイヤレスブロードバンド社会の構築は国民に豊かさと安全性をもたらすもので大いに賛成であるとともに期待をしています。放送もワイヤレスブロードバンドの一つである事を踏まえ、国民の文化や情報環境向上を目指し放送事業者も積極的に関与していきたいと考えます。高品質な番組を提供するために放送や素材伝送についてさらに高画質化を進めていきます。
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題	放送事業者は3.4～3.6GHz帯固定局の周波数移行を実施する事で、この帯域を国際的なIMT用周波数として速やかに4G移動体通信に使用できるよう協力しています。まずワイヤレスブロードバンドモバイルを早期実現するためには700MHz帯と900MHz帯をペアで利用する方式を進めるのが合理的であろうと思われます。
(3) 関連する国内外の動向と課題	地上アナログテレビ放送は2011年度7月に終了する予定です。それに伴う周波数割り当て計画では2012年7月から710～770MHzがITSや携帯電話等に割り当てられる事が答申されています。とりわけ730～770MHzの携帯電話への帯域はワイヤレスブロードバンドを早期に実現するために速やかに活用されるべきです。
(4) その他、将来のワイヤレスブロードバンドによるサービスやシステムに関する事項	項目(1)でも書きましたが、放送もワイヤレスブロードバンドの一つである事を踏まえ、国民の文化や情報環境を向上していくために放送事業者も積極的に関与していきたいと考えます。そのためにも800MHz帯FPUや特定ラジオマイクなどの素材伝送システムはその周波数特性を生かして有効活用し、良質な番組・情報を提供していく事が重要です。